

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 湊 純子

- 1 日時 令和3年11月17日(水) 14:05～14:50
- 2 学年 芸北小学校 第6学年 男子3名 女子9名 計12名
- 3 単元名 芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～
- 4 単元について

<単元観>

本単元は、学習指導要領解説総合的な学習の時間編第3節「各学校が定める内容とは」に例示された「地域や学校の特色に応じた課題」を参考にして設定した。

「芸北での学び」とは、児童がこれまでに芸北で学んできたこと全てを指す。

例えば、総合的な学習の時間に、1・2年生「げいほく山ランド」では芸北の山に登り、3・4年生「山のめぐみ」では山の木を拾って来て火おこしをし、5年生「せどやま教室」では山の木を切ってせどやま市場に搬入する活動を行った。児童は、これらの体験活動を通して芸北の豊かな自然に触れ、自然が芸北の人々の暮らしと密接に関わっていることを学んできた。また、「えがく」「やってみる」「ふりかえる」という本校の学びのスタイルを繰り返し行うことで、児童に育てたい6つの資質・能力(意志力, 多面的・多角的な見方・考え方, 自己回復力, 協働する力, 課題解決力, 安全・安心をつくる力)を育んできた。これ以外にも、芸北の高齢者施設やこども園との交流等を通して地域の人・もの・ことについて学んできた。そして、各教科等においても、様々な知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に付けてきた。

これらの学びを生かして、芸北で暮らす人々の思いや願いを知り、地域の活性化に向けたプロジェクトを考え、提案し、実行する中で、児童は探究的に学びながら芸北への愛着を深めるとともに、自分も芸北の一員であるという自覚を高め、自分にできることを進んで考え行動することができるようになると思う。

<児童観>

芸北についてどのように思っているかアンケートをとってみたところ、次のような結果になった。

	良く当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全然当てはまらない
芸北が好きである。	7	4	1	0
芸北を大切に思い、住んでいる人のために、自分にできることはしていきたいと思う。	7	5	0	0
これからもずっと芸北で暮らしたいと思う。	4	3	4	1

ほとんどの児童が、芸北を好きだと思っていること、将来芸北で暮らさなくても、芸北で暮らす人々のために、自分にできることをしたいと思っていることが分かる。

<指導観>

単元の目標達成及び資質・能力向上のため、以下の手立てをもって指導する。

- ① 単元の始めに、自分たちはこれまで「総合・生活」で何を学んだのか、どんなところが成長したのかを振り返り、それを本単元の学習に生かすことができるようにする。
- ② 児童に芸北の「良いところ」「もっと良くなってほしいところ」を話し合わせた上で、芸北で暮らす人々やそれ以外の方にアンケートを取り、その集計結果を整理・分析させる。芸北で暮らす人々やそれ以外の方の生の声を聴き、自分たちの思いと比較することで、芸北の良さや改善点をより自分事

として捉えることができ、自ら課題を見出すことや主体的に学ぶことにつながると考える。

(※「それ以外の方」…芸北以外の地域から芸北に来て働いている方や学んでいる方等)

- ③ 芸北で活躍されている方をゲストティーチャーとして招き、活動内容や活動を始めた理由、苦労、やりがい、芸北への思い等を聞くことで、「自分たちも芸北のために何かやってみたい」という意欲を高める。それをきっかけとして、ゲストティーチャーの方々には、単元全体を通して関わっていただく。児童が総合的な学習の時間を行っている時に、本校の空き教室をコワーキングスペースとして活用していただき、児童が「質問したい」「考えたことを聞いてもらいたい」「アドバイスをもらいたい」という時に、主体的に相談することができるようにする。そして、児童の良い考えを評価したり、足りない部分をアドバイスしたりしていただく。そうすることで、学習意欲を維持するとともに、より良いプロジェクトにするために向上心をもって取り組ませることができると考える。
- ④ グループ学習をする時には、「進捗状況の確認→これからやるべきことの確認→役割分担→実施→進捗状況の確認・・・」という流れを繰り返させる。そうすることで、自分たちの学習はどこまで進んでいるのかをグループ全員が把握することができるとともに、一人一人が自分の役割を自覚し、責任をもって取り組もうとしたり、足りない部分をお互いに補い合ったりすることもできると考える。また、グループの話し合いに積極的に関わることができるようにするために、ゲストティーチャーの方々に相談に行く時に、代表で話をする人を毎回交代させる。

5 単元の目標

これまで学んできた芸北の人・もの・ことから、改めて芸北の良さや改善点を見出し、協働して芸北を活性化するための取組を考え、提案し、実行することを通して、芸北に誇りを感じるとともに、芸北で暮らす人々と自分の思いや願いを実現するために、芸北の一員として自分にできることを考え、進んで行動できるようにする。

6 単元の評価規準とルーブリック

(1) 評価規準【身に付けさせたい資質・能力】

知識・技能 【自己回復力、協働する力、課題解決力、安全・安心をつくる力】	思考・判断・表現 【多面的・多角的な見方・考え方】	主体的に学習に取り組む態度 【意志力】
①ストレスを感じても前向きに考え、自分なりの方法で学習意欲を回復している。【自】 ②課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、協力を得ながら活動を進めている。【協】 ③互いに高め合ったり、助け合ったりしながら、自分の役割を最後までやり切っている。【協】 ④芸北の活性化に向けて、課題解決の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を適用させながら課題を解決している。【課】 ⑤インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解している。【安】	①より良い課題解決に向けて、視点や尺度、発想を転換しながら人や物事を柔軟に捉えている。	①「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、よいと思った具体的な行動を選択し、計画を立て、意欲的に実行しようとしている。 ②「めざす自分」や学習のめあてをもとに自分の取組や現状を振り返り、次の学習をより良くしようとしている。

(2) ルーブリック

資質・能力	C	B	A
知識・技能	①	ストレスを感じるとやる気を失い、自分なりの方法で学習意欲を回復できていない。	ストレスを感じても前向きに考え、自分なりの方法で学習意欲を回復している。
	②	課題解決に向けての自分の役割がわからず、他者の協力を得ることができていない。	課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、協力を得ながら活動を進めている。
	③	自ら考えたり、動いたりせず、自分の役割を最後までやり切ることができていない。	自らわからないことを聞いたり、考えたりしながら、自分の役割をやり切っている。
	④	芸北の活性化に向けて、課題解決の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を適用させながら課題を解決できていない。	芸北の活性化に向けて、課題解決の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を適用させながら課題を解決している。
	⑤	インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解していない。	インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解している。
思考・判断・表現	①	視点や尺度、発想等を転換しながら人や物事を柔軟に捉えることができていない。	視点や尺度、発想等を転換しながら人や物事を柔軟に捉え、その考えの良さを自分の言葉で説明している。
主体的に学習に取り組む態度	①	「めざす自分」や学習のめあてを考えた行動ができず、人任せな行動をしている。	「めざす自分」や学習のめあてを考え、計画に合わせて、意欲的に行動している。
	②	振り返りが単なる感想で終わり、現状の把握や計画の修正ができていない。	現時点の取組を振り返り、達成できた理由や修正点に気づき、次につながる行動を考えることができる。
			現時点までの過程を踏まえた振り返りを行うことができ、さらに先を見通した改善策を考えて計画を修正することができる。

7 単元の指導と評価の計画（本時34／55時間）

節 (時数)		学習活動	知	思	態	評価方法
1 芸北で暮らす人々の思いや願いを知ろう ⑩	えがく	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んできた芸北の人、もの、ことを振り返る。 芸北をより良くするために取り組むという単元の見通しをもつ。 芸北の良さや改善点を考える。 芸北で暮らす人々の思いや願いを知るための調査方法を考える。 	④	①	①	<ul style="list-style-type: none"> 発言 ワークシート 振り返り
	やってみる	<ul style="list-style-type: none"> 芸北で暮らす人々の思いや願いを知るために考えた調査方法（アンケート）を実施する。 芸北で活躍されている方の話を聞く。 得た情報を整理、分析する。 	① ② ③ ④	①	①	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動 ワークシート 振り返り
	ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 1節の振り返りをし、2節の見通しをもつ。 	④	①	②	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り
2 芸北をより良くするために考えた方法を提案しよう ⑫	えがく	<ul style="list-style-type: none"> 芸北で暮らす人々と自分の思いや願い、現状をもとにプロジェクトの目的を考える。 プロジェクト名を考える。 プロジェクト内容を提案するまでの学習計画を立てる。 芸北をより良くするためのプロジェクトチームを発足する。（4人×3チーム） 「めざす自分」を考える。（2節） 	④	①	①	<ul style="list-style-type: none"> 発言 ワークシート 振り返り
	やってみる	<p>※ここからは、チームごとに活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸北をより良くするためにできそうなことを考え、たくさん案を出す。 プロジェクトを行う上での条件を考え、それを基に案を絞っていく。 芸北をより良くするためのプロジェクトを決める。 プロジェクトの内容を具体的に考える。 必要に応じて調査活動を行う。 考えたことを発表原稿やプレゼンテーション資料にまとめる。 発表練習をし、自己評価や第三者（教職員、地域のGT、他のチームの児童）のアドバイスをもち、内容に説得力をもたせるように改善する。 まとめたことを発表し合い、その良さと改善点を明らかにする。（本時） 発表し合ったプロジェクトのうち、どのプロジェクトを実行するか、全員で話し合って決定する。 	① ② ③ ④ ⑤	①	① ②	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動 ワークシート 発表原稿 PP資料 振り返り

	ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざす自分」を振り返る。(2節) ・2節の振り返りをし、3節の見通しをもつ。 	④	①	②	・振り返り
3 芸北をよりよくしよう ⑳	えがく	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの実行計画を立てる。(いつ、どこで、だれと、どのように等) ・「めざす」自分を考える。(3節) 		①	①	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ワークシート ・振り返り
	やってみる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを実行する。(内容や残り時数により、繰り返すことも) 	① ② ③ ④ ⑤	①		<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・行動 ・振り返り
	ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトに関わってくださった方の感想やアドバイスを聞く。 ・単元の振り返りをし、課題解決の過程を整理する。 ・めざす自分を振り返る。(3節、単元全体) ・これから自分が芸北にどのように関わっていきたいかを考える。 ・実行したプロジェクトを芸北の人々や他地域の小学生等に宣伝する。(学習のまとめと発信) 	④ ⑤	①	②	・振り返り

8 本時の展開

(1) 目標

それぞれのグループが考えたプロジェクトの良さや改善点を、視点や尺度、発想を転換しながら考えることができる。

(2) 評価規準

それぞれのグループが考えたプロジェクトの良さや改善点を、視点や尺度、発想を転換しながら考えている。【思考・判断・表現①】

(3) 学習の展開

学習活動（・予想される児童の反応）	○指導上の留意事項 ●個に応じた支援	評価規準 (評価方法)
1 本時のめあてを確認する。	○ 本時で考えたことが、実施するプロジェクトの決定につながることを確認する。	
㉞ プロジェクトの提案を聞き合い、その良さと改善点を明らかにしよう。		
2 考える視点を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの目的（芸北をより良くする）に合っているか。 ・説得力があるか。（事例、効果等） ・実現可能か。（計画が具体的か） 	○ 「多面的・多角的な見方・考え方」を掲示し、意識させる。 ● ワークシートを配付し、視点を分かちやすくする。	

3 グループごとに、プロジェクトを提案する。	○ 気付いたことをワークシートにメモしながら聞かせる。 ● 視点がずれていたら、個別に指導し、修正させる。	
4 提案を聞いて考えたことをグループごとに話し合う。	○ プロジェクトの良さと改善点が明確になるように話し合わせる。 ● 順番に発言させ、全員が自分の考えを言えるようにする。	
5 グループで話し合ったことを全体で交流する。	○ 出た考えを黒板に整理し、学習活動7で考える時の手立てとする。	
6 ゲストティーチャーの方々からのアドバイスを聞く。	○ それぞれのプロジェクトの良い点や課題について話をしていただき、実施するプロジェクトを決定する際の参考にする。	・それぞれのグループが考えたプロジェクトの良さや改善点を、視点や尺度、発想を転換しながら考えている。
7 現時点で実施したいと思うプロジェクトとその理由を考え、交流する。	○ 交流したことをもとに、芸北をより良くするプロジェクトはどれなのかを考えさせ、次時へつなげる。 ● 板書をふり返って考えさせる。	【思考・判断・表現①】
8 本時の振り返りをする。	○ プロジェクトの良さや改善点を多面的・多角的に考えることができたかどうかを振り返る。	(ワークシート、発言)

9 板書計画

11/17 芸北未来プロジェクト

㊦ プロジェクトの提案を聞き合い、その良さと改善点を明らかにしよう。

1 グループ

良さ	改善点

2 グループ

良さ	改善点

3 グループ

良さ	改善点